

TOKYO 会報

No.14

2019(令和元年)年9月27日発行

大妻同窓会 東京

発行責任者 山田 恵理(代表)

TOKYO会報No.14によせて

大妻同窓会東京代表 山田 恵理

9月に入ってすぐ発生した台風は強い風が吹き荒れ、千葉では大きな被害が出ております。東京でも、木の枝が折れ破損している屋根を目にしました。皆様のお近くでは被害はございませんでしたでしょうか。

最近「フェーズフリー」という言葉を聞きました。社会のフェーズ(時期や状態)を取り払い、普段利用している商品やサービスを非常時にも役立てる。例えば普段使っている風呂敷を撥水加工にすれば非常時には水を運ぶことができ、無駄なくもしにも備えていることになります。「バリアフリー」とは物理的な障害から解放されること。人生100年というこの時代、いかに不自由な環境や状況から解放されフリーになり、幸せに暮らしていけるか。大妻中高では「幸せなおばあちゃん」を日本一輩出する学校を目指しているとのこと。すでに実現されている先輩方は大勢いらっしゃいますが、これからも後に続き大いに実績を伸ばしていきたいものです。

大妻グッズのご案内

学生時代に購買部で買い物したことを覚えているでしょうか。現在その商品棚に並んでいる品は随分と様変わりしているようです。大妻の校章や名前入りのグッズが揃っております。千代田キャンパスにいらした際にはお立ち寄り下さい。またクラス会での記念品などにもご利用いただけます。

- ・封筒・便箋セット
 - ・クリアホルダー
 - ・A4 藤色・クリスタルピンクなど全12色
 - ・ミニタオル ロイヤルブルー・ピンクなど全8色
 - ・デニムバッグ、ポーチ、トートバッグ
 - ・マグカップ
 - ・江戸切子グラス
 - ・ロゴ入りクッキー(コロンバンと提携最小90個)
- ほかの文房具もございます。

公開講習会「墨絵に挑戦、墨の濃淡を楽しむ」

～記念会平成30年度事業 地方における講習会～

同窓会東京では、現在様々な分野で活躍されている卒業生を講師に迎え講習会を開いております。昨年は現代水墨画の世界でご活躍中の中馬瑞水氏をお招きし墨絵講習会を企画、記念会の事業の一つである「地方における講習会」として実施いたしました。当日は本会会員のみだけでなく卒業生、ご友人の方あわせて10名が参加し墨絵に挑戦。筆の使い方、墨と水をどのくらいふくませるのか、どのように濃淡をだすのか。ほとんどの方が初めての体験でしたが、皆さん上手に描けました。

〈参加者へのアンケートより〉

初めは、まったくの初心者、墨絵はもちろん絵心もないなど心配されていた方も多くいらっしゃいました。終わってみると筆の使い方が難しかったが集中できた、楽しかったと好評でした。また、先生が手書きの見本をご用意くださり、一人一人丁寧に教えてくださったのでわかりやすかった、墨の魅力を感じることができましたという声も多くいただきました。皆さんご自身の作品を大切にお持ち帰りになりました。

日 時：平成30年11月25日(日) 13:30～15:00

場 所：大妻コタカ記念館

講 師：中馬瑞水氏 大妻女子大学短期大学部卒業

現代水墨画陽水会 松井陽水氏に師事

全日本水墨画秀作展佳作

日府展(ニップテン)奨励賞 他多数受賞

〈講師にきく〉

植物を描くことが基本。まず、よく観察し植物を描くことで基本の濃淡を学ぶ。筆の腹で描けるようになると墨の濃淡がでます。本年5月の日府展入賞作品は50号の大作。薄墨で下絵を描き、筆で描き始めると1日2,3時間の作業を3日ほどで描き上げたそうです。

*本講習会がきっかけとなり、記念会での生涯学習講習会「現代水墨画」全6回のプログラムが始まりました。10月大妻祭にて受講生の皆さんの作品を展示します。是非ご覧ください。

2018年度後期・2019年度前期事業報告

ご参加、ご協力ありがとうございました。

① 第18回東京の集い

「ランチを美術館で〜お台場光のミュージアム」
森ビル デジタルアートミュージアム
チームラボ ボーダレス

呑山伊佐子（大学部家政学科S39卒）

この美術館のコンセプトは「ボーダーレス」、明確な境界がなく全体で一つの世界をつくる。また体を動かすことで、自身の五感でアートを感じ取る体験型ミュージアムでした。入場してすぐのエリアに広がるのは、花・人・森の世界で、壁や床一面に四季の花が咲き、散り、また異なる花々が咲き、散りと、ゆっくり季節が移り変わっていきます。運動の森では、来館者がぬり絵した動物が床、壁を走り飛び舞い、さらに大きな水槽の中を魚や亀が泳ぎ回ったりと、美しい光の世界で遊び興じる体験ができました。



大観覧車の下で



デジタルのお花畑



塗り絵が動いている！



日府展「戸隠・隋心門」



講師 中馬瑞水氏



墨絵講習会

節の前菜二種から始まり、みぞれ仕立てのお椀、お造り、煮物、焼物、小鍋、お食事、留椀、香の物、季節の果物、の懐石コースをいただきました。どれも見た目に美しく、季節感あふれるお料理でした。沙羅の木は「プロが選ぶ日本のホテル料理100選」を10年連続で受賞しているのだそうです。

お食事の後は、お庭を散策いたしました。残念ながら、名作「舞姫」を執筆したお部屋は、お祝い事で入室ができませんでしたが、樹齢300年の木などが



鷗外荘にて



沙羅の木にて乾杯！



森鷗外住居



楽しく会食

② 第16回私のTOKYO

「水月ホテル鷗外荘とランチに参加して」

上田香十里（短期大学部英文科H3卒）

2019年3月、明治の文豪・森鷗外の旧居が保存されている「水月ホテル鷗外荘」でのランチ会に参加いたしました。少し汗ばむほどのよいお天気、道中の上野恩賜公園内はたくさんの人出で、不忍池のほとりにはこの時期の桜が綺麗に咲いていました。水月ホテル鷗外荘は普通の道路に面しており、ホテルの角に「森鷗外居住の跡」の石碑があるものの、一見普通のビジネスホテルの外観です。この場所で間違いなのかと躊躇いながら門をくぐると、中庭に森鷗外の美しい旧邸がありました。ランチは、その敷地内にある京懐石レストラン「沙羅の木」の桜の間でいただきました。皆さんで乾杯をし、コースのお料理のスタートです。季

残るお庭に入るとまるでタイムスリップしたかのような体験ができました。お料理がとても美しく美味しく、会話ははずみ、とても楽しい会となりました。

③ 第17回私のTOKYO 江戸東京博物館

「同窓会東京のイベント 実り多く」

高垣佐和子（短期大学部家政科S55卒）

前の東京オリンピック（昭和39年）では、開催を前に新幹線の営業が開始され、現代の生活には欠かすこのできない交通手段となっている。江戸時代も幕府により街道が整備され、武家や姫君、幕末の英雄たちが通ったその街道は、私たちにとっても馴染み深い街道である。

折しも「大妻同窓会東京の通信」が届き、東京江戸博物館「江戸の街道を行く～将軍と姫君の旅路～」の見学と館内レストランでの総会・会食のお誘いを見つけ、イベントに初参加させていただくことにした。江戸時代に整備された街道は、明治5年の鉄道開通によって、短時間で遠隔地へ行けるようになり、生活が大きく変化したと展示は伝えていた。参加されていた大妻同窓会東京の先輩も「まだ新幹線がない時代、大妻に行くのに四国から東京まで22時間かかり、列車の椅子も堅い板だった。それでも休みごとには四国に帰ったわ。今ではシュッと四国まで行ける時代。」と話してくださった。年齢層まちまちの同窓会だからこそ伺えるお話で、東京江戸博物館の特別展も良かったが、総会の後の先輩の話は何よりも一番興味深かった。



江戸東京博物館



島津家女乗物、下は紙製お土産



総会 三笠会館にて



江戸の町を

大妻同窓会東京イベントへの初参加は、実り多きことだった。

④ 2019年度大妻同窓会東京総会

TOKYO会報編集部

今年度の総会は前述の第17回私のTOKYOと同日、5月26日（日）、江戸東京博物館1階にある銀座洋食「三笠会館」にて開催いたしました。午前中に博物館特別展を見学し、レストランにて総会。例年通り、事業の実施報告と計画、決算・予算の報告を滞りなく終え、そして昔ながらの洋食と世代を越えて色々な話を楽しみました。再び博物館に戻り常設展を見学。ボランティアガイドツアーに加わり、再現された江戸の町並みを歩きました。久しぶりの事業と総会との共催でした。

⑤ 「コーラス講習会 Vol.9に参加して」

太田 妙子（家政学部被服学科S61卒）

6月23日（日）13:30～15:00、第9回コーラス講習会が千代田校舎児童学科音楽表現練習室にて開催されました。初めに体を動かしながら発声練習。次に歌の旋律の音取りをおこない、「知床旅情」「千の風になって」「卒業写真」「どこまでも～How Far I'll Go～」365日の紙飛行機」「エーデルワイス」の6曲を歌いました。懐かしい曲、お馴染みの曲、少し難しい曲と色々ありましたが、皆さん心を一つにし気持ちよく歌うことが出来ました。歌を歌うということは大変健康に良



コーラス講習会 Vol.9



山口美恵子講師のピアノにあわせて

いことです。発声することによって体の血流がよくなり、自然と体温も上ってくるので血行促進の効果があります。また、普段はなかなか大きな声を出すという機会が少ないものですが、歌うことで普段たまっているストレスも思い切り発散することができます。初めての方も、次回は是非参加してみてください。一緒に楽しく歌いましょう。

「大妻からの贈物」

メイソン久美代 (旧姓 上高原)

(短期大学部英文科S49卒)

今から48年前、18歳で鹿児島から大妻に入学する為、上京。私の人生は千代田区の大妻から始まりました。黒いスーツを着て入学式に出て帰りは母と靖国神社に行った記憶が蘇ります。卒業式は四ツ谷のニューオータニでレセプションがあり私は振袖を着ましたがロングドレスを着た女性達がキラキラと輝いていたのを鮮明に思い出します。

短大で入学して次の年は就職先を考えないといけなくて物足りない学生生活でしたが、英語を話せるようになりたかったので早速、ESSに入会しました。文化祭になると隣の大学から沢山の男子学生が訪れていました。特にESSは男子学生にとって女子学生と英語でお話できる絶好のチャンスでもありました。英語が上手、下手は記憶に無いのですが、今でも忘れられない会話があります。某大学の男子学生が“What do you want to speak?”と聴くと、大妻の女子学生が平然と“Politics”と答えるシーンがありました。これを聞いた男子学生は目を丸くして“Politics?!”と聞き返したのが忘れられません。この時、私は英会話を学んだのでは無く言葉の遊びと魅力的な女性の存在を知りました。正に、大妻は“In good shape”でした。卒業後、アメリカに2年留学をして外国の航空会社のCA、国際結婚、大妻の隣の英国大使館に40歳で再就職、定年退職しました。48年ぶりに大妻の文化祭、ESSを覗いてみたくなりました。

第8期 (2019・2020年度)

大妻同窓会東京役員

運営委員 ◎山田 恵理 ○阿部 栄子 ○植野 一恵
太田 妙子 大野美恵子 小倉 智子
高木 和子 津田 厚子 内藤 まり
中澤 範子 山口美恵子

(◎代表 ○副代表)

監 事 金谷 喜子 呑山委佐子

訃 報

加藤敏子様 元大妻コタカ記念会会長

長岡博子様 前大妻コタカ記念会会長

※編集後記※

元号が変わり5ヶ月が経ち「令和」「R」という表記にようやく慣れてきました。令和元年の会報を無事に発行でき、原稿をお寄せくださった皆様に感謝いたします。来年もよろしくお願いいたします！
(EY)